ぎょうむそくほう【ダイジェスト】

No.728
2026 年 11 月 4日
東海旅客鉄道労働組合
https://www.jrtu.jp

「ハートフルカンパニービジョン　⇒２０２７」の取り組み推進！

Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION

「年末手当」交渉　第2回団体交渉

この間の組合員の懸命な努力　奮闘に対し「3.1 箇月」満額回答を強く主張！

Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION

11 月 4 日、申第５号「2026 年度年末手当に関する申し入れ」に基づく団体交渉を開催し、**「基準内賃金の 3.1 箇月分・12 月 10 日支給」の満額回答**に向け、議論を展開した。

団体交渉では、**日本の大動脈および社会基盤の発展と地域医療等を担うという使命を果たすため、組合員一人ひとりが昼夜を問わず、鉄道運行や医療、サービス事業、グループ一体となった関連事業の活性化や、中央新幹線計画の推進等、あらゆる分野で社業・社会を支えてきたことを訴えた。さらに、業務改革や収益の拡大に加え、徹底したコスト削減においても、組合員が知恵を絞り、力を発揮してきた結果、上期の運輸収入が大阪・関西万博の開催された昨年度を上回り、通期業績予想も上方修正されるなど、好調な業績につながったことを強調し、「3.1 箇月」満額回答を強く求めた。また、厳しい酷暑や各職場で要員不足を訴える声が挙がるなか、休日勤務を含めた組合員の献身的な対応によって、安全・安定輸送を確保し続けてきたことは紛れもない事実であり、こうした組合員の努力と成果に報いるべきと強く主張した。**

会社は、上期業績が昨年度に近い水準にあることや、組合員のこれまでの尽力については、組合の認識と相違がないことを示した。一方、年末手当の支給判断については、上期業績は大きな指標ではあるものの、これまで示してきたとおり、長期的視点に立って、当社の経営状況や当社の置かれている環境、景気動向、世間相場と当社の賃金水準、組合側の主張等を総合的に勘案して決定していくものであるとの従来の姿勢であった。

これに対し、**鉄道、医療は紛れもなく人の力で成り立っており、将来にわたる人財確保や離職防止、さらなる意欲向上のためにも、「3.1 箇月」満額回答にて応えるべきと強く主張した。**

引き続き、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向け、組合員一人ひとりの努力と成果に報いる「3.1 箇月」満額回答を粘り強く要求していく。

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。